

特例財団法人日本エスペラント学会
2008 年度事業報告書 (2008-04-01 ~ 2009-03-31)

[事業の状況]

【 1 . エスペラントに関する研究調査・発表】 (寄付行為第 3 条 1)

- 1 . 研究発表会 : 10 月 11 日、和歌山市 (第 95 回日本エスペラント大会会場) で次の講演を行い、予稿集を発行した。参加 20 人 : (1) 柴山純一 "Vortoprovizo por moderna vivo: provo de NUN- vortoj"、(2) 吉田正憲 "Roka kaj Ai Tokutomi, "De Nihon al Nihon": Vojrakonto kaj Traduko"。
- 2 . 公開シンポジウム : 10 月 12 日、和歌山市で、第 95 回日本エスペラント大会の公開番組として、国際言語年記念シンポジウム「なぜ今、国際言語年か・言語の多様性と対話の文化」を開催した。参加 350 人。なお報告集は 2009 年度に出版予定。
- 3 . 紀要『エスペラント研究 / Japana Esperantologio』第 3 号を編集し 10 月に刊行した。

【 2 . 講習会・講演会・大会の開催および後援】 (寄付行為第 3 条 2)

1 . 講習会

- ・第 41 回エスペラントセミナー : 5 月 3 - 5 日、埼玉県嵐山町の国立女性教育会館で行い、6 クラス 39 人の参加があった。
- ・エスペラント中級セミナー : 11 月 22-24 日、埼玉県嵐山町の国立女性教育会館で行い、2 クラス 21 人の参加があった。
- ・体験交流会・教えるということ : 3 月 14 日、本会会館で行い、7 人の参加があった。

2 . 講演会

- ・エスペラントの日 (6 月 14 日) に本会会館で田中克彦と木村護郎クリストフによる公開講演会を開催、約 70 人が参加した。

3 . 大会

- ・第 95 回日本エスペラント大会 (共催) : 10 月 11-13 日に和歌山市で開催、参加者 477 人。

4 . 後援 (事業名、日付、主催、場所)

- ・2008 国際言語年記念講演 : 4 月 5 日、岡山エスペラント会、岡山市
- ・第 25 回エスペラント春の 1 日公開講座、4 月 19 日、都区内エスペラント会連絡会、本会会館
- ・第 21 回みどりの学校 : 5 月 2 - 6 日、同実行委員会、長野県高遠町
- ・IJK へいこうよ ! : 5 月 17 日、日本青年エスペラント連絡会、本会会館
- ・第 17 回エスペラント入門講座 : 5 月 7 日・10 月、福島エスペラント会、福島市
- ・2008 年春の入門講習会 : 5 月 8 日・7 月 10 日、ロンド・コルノ、本会会館
- ・第 57 回関東エスペラント大会 : 5 月 24-25 日、関東エスペラント連盟、東京都江戸川区
- ・第 56 回関西エスペラント大会 : 6 月 7 - 8 日、関西エスペラント連盟、城陽市
- ・入門講習会およびエスペラント展示 : 8 月 31 日・9 月 8 日、京都エスペラント会、京都市
- ・国際共通語エスペラント入門講習会 : 10 月 2 日・12 月 18 日、ロンド・コルノ、本会会館
- ・第 9 回中四国エスペラント大会 2008 : 11 月 1 - 2 日、中四国エスペラント連盟、山口市
- ・第 27 回日韓中セミナー : 12 月 27-29 日、日本青年エスペラント連絡会、横浜市

【 3 . 雑誌および図書等の刊行】 (寄附行為第 3 条 3)

1 . 雑誌の刊行

- ・会誌「エスペラント / La Revuo Orienta」を刊行。毎月 40 ページを基本として 11 回 (8-9 月号は合併号)。6 月号図書カタログを発行。5 月号から誌面刷新を行った。会誌の音声版 (カセットテープ) を視覚 障害のある会員に発送している。

2. 図書の刊行

- ・有吉佐和子原作『華岡青洲の妻』のエスペラント訳を小西岳訳で "La edzino de Kuracisto Hanaoka seisyu" として 10 月に発行した。本体価格 1300 円：ISBN 978-4-88887-056-6 C3093。
- ・江川治邦，福本博次著，土居智江子編の『和歌山とエスペラント』を 10 月に発行した。本体価格 500 円：ISBN978-4-88887-057-3。
- ・Fronte ! 叢書として『国際語エスペラント運動に関するプラハ宣言』を 5 月に発行した。本体価格 20 円：ISBN 978-4-88887-055-9。

【4. その他本会の目的を達成する事業】（寄付行為第3条4）

1. 本会の基盤を拡大するための活動（寄付行為内規第2条1）
 - ・処務事項参照。なお，支部は合計 52 支部で活動中。
2. 本会と類似の目的をもつ個人や任意団体を支援する活動（寄付行為内規第2条2）
 - ・「学校へ緑の風を」基金より、次の支援を行った：冊子『国際語エスペラントへの招待』を中学校 3 件 160 冊、高校 2 件 78 冊、教育委員会 1 件 55 冊、計 293 冊贈呈した。
 - ・「青年エスペランチスト国際行動基金」から、1 件 30 万円を貸与した。
 - ・日本青年エスペラント連絡会 に第 27 回日韓中青年セミナー(横浜市、12 月 27 日～29 日) の開催を支援するため「エスペラント国際会議招へい基金」から 10 万円を支出した。
3. 本会の目的を達成した個人や任意団体を顕彰する活動（寄付行為内規第2条3）
 - ・小坂賞を藤本達生氏、峰芳隆氏に授与した（10 月）。
 - ・永年会員として、会員歴 50 年 7 人と会員歴 30 年 9 人を表彰した（10 月）。
4. 本会の目的を達成するにあたってふさわしい国際的機関への加盟および国際的機関との連携活動（寄付行為内規第2条4）
 - ・世界エスペラント協会（Universala Esperanto-Asocio=UEA）の日本における国別代表組織として諸活動に協力した。日本における UEA 主席代表（cefdelegito de UEA）は星田淳が退任し代わって原田英樹が就任した。
 - ・UEA アジア運動委員会（Komisiono de UEA pri Azia Esperanto-Movado ,KAEM）の活動、特に機関紙"Esperanto en Azio"の編集・発行に協力した。
5. 寄附行為第3条第1項より第3項にかかわる活動を広報する活動（寄付行為内規第2条5）
 - ・国連の国際言語年（2008 年）に関連した広報を行った。
 - ・本会のウェブページを 2009 年 1 月に刷新し、更新の定期化に努めた。
 - ・リーフレット『ホントの国際語って何だろう』を改訂増刷した。
6. 寄附行為第3条第1項より第3項にかかわる活動についてその成果を整理・保存する活動（寄付行為内規第2条6）
 - ・本会図書館で書籍の保存を行い、供覧に付した。
7. その他の活動（寄付行為内規第2条7）
 - ・エスペラント学力検定試験と新テストを次の通り行った：(i) 5 月 4 日、埼玉県嵐山町での第 41 回エスペラントセミナーにて、検定試験 6 人、新テストを 3 人受験。(ii) 10 月 12 日、和歌山市での第 95 回日本エスペラント大会にて、検定試験 9 人受験。
 - ・ハヶ岳エスペラント館（山梨県）において、当学会主催の宿泊をともなう研修を実施した。
 - ・エスペラント図書の対面販売，通信販売および海外雑誌の取り次ぎをおこなった。また『図書カタログ』の 2008 年度版を作成した。

[庶務]

1 会議（場所は記載のないものは東京都新宿区の本会会館にて）

- (1) 理事会：5月25日，9月7日，12月7日，2009年1月11日，3月22日の5回開催。
- (2) 評議員会：5月25日，9月7日，2009年3月22日の3回開催。
- (3) 常務理事会：6月27日，11月9日，2009年2月15日，3月27日（臨時）の4回開催。
- (4) 維持員会総会：10月13日（和歌山市）。
- (5) 維持員会支部代表者会：5月18日。

2 会員（財団法人の維持員）

2008 年末現在で 1,298 人。

3 理事，評議員改選

2009-2010 年期の理事 12 人、監事 2 人が選任された。退任した評議員 2 人が出たので、2 人を 2009 年期に補任した。